

女子大生の3人に一人がひなまつりを実施！ お祝いをしている女子大生はコミュニケーションをとるのが好き ～理想のお父さんは「自分の父親」が断トツ！～

カルピス（株）「女子大生と父親のひなまつりに関する意識と実態」調査より

カルピス株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：山田藤男）は、1963年より“「カルピス」ひなまつりプレゼント”（希望のあった全国の幼稚園や保育所に「カルピス」と絵本を贈る社会貢献活動）を実施し、今年で50回の節目を迎えます。この社会貢献活動にちなみ、ひなまつり前に「女子大生と父親の“ひなまつり”に関する意識と実態調査」を実施しました。

①女子大生のひなまつりの実施状況 →P3

- 女子大生の3人に一人が「ひなまつりのお祝い」を実施
- お祝いをしている女子大生は「人とコミュニケーションを取るのが好き」

②父親のひなまつり参加実態と父娘のコミュニケーション →P5・6

- 父親の「7割弱」がひなまつりに参加
- ひなまつりが娘とのコミュニケーションに役立った ⇒ 約4割
- 娘とコミュニケーションが一番とりにくかったのは高校生・中学生の時
- 娘が大学生になって、コミュニケーションは良くなった！ ⇒ 4割弱

③女子大生の父親に対する意識と理想のお父さん像 →P8・9

- 7割強がお父さんを好き ⇒ 中高生の父親への好意度を上回る
- 理想のお父さん ⇒ 「自分の父親」が断トツ！
- 9割がお父さんの体（健康）を心配している
- 娘の父親採点は平均71.0点 > 父親の自己採点は平均58.2点



④4年生の就職活動と父娘の関わり →P10・11

- 4年生の6割強が内定！～就職に関する事で、約2/3が父親に相談した
- 父親の1/3強が、娘の就活をサポートできた！

<本件に関するお問い合わせ先>

アサヒグループホールディングス株式会社 広報部門

電話：03-5608-5126

<調査に関するお問い合わせ先>

「ひなまつり調査」広報事務局

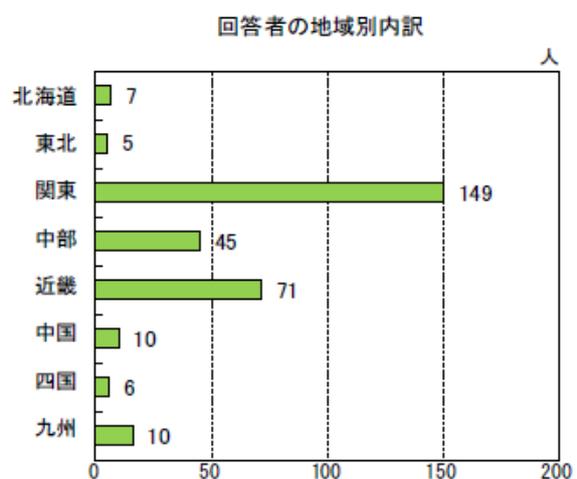
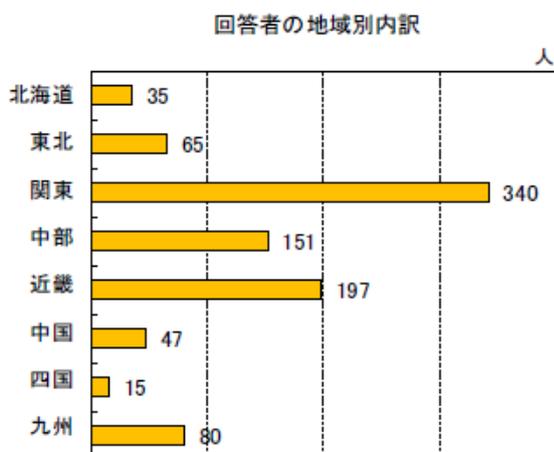
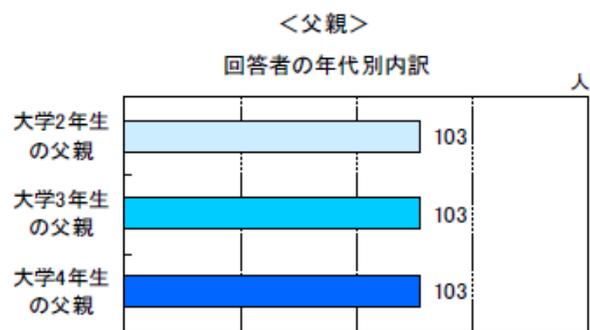
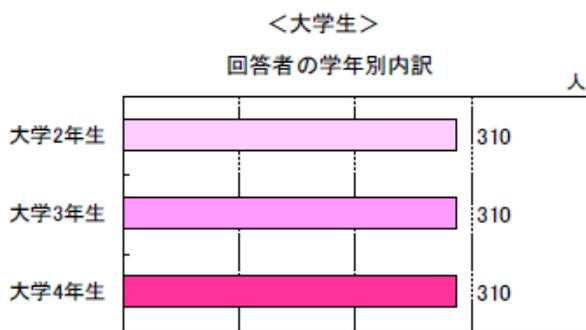
電話：03-3583-6110

調査概要

- ◆ 調査名：女子大生と父親のひなまつりに関する意識と実態調査
- ◆ 調査方法：Web モニターによるアンケート調査
- ◆ 調査対象者：国内（全国）に居住する大学2～4年生の女子
国内（全国）に居住する大学2～4年生の娘を持つ父親
- ◆ 調査実施期間：大学生/2013年12月4日（水）～5日（木）
父親/2013年12月4日（水）～5日（木）
- ◆ 回収サンプル数：大学生/930 サンプル
父親/309 サンプル
- ◆ 調査機関：株式会社マクロミル

※本文中に小学生・中学生・高校生、小学生の父親・中学生の父親・高校生の父親の回答との比較がある箇所があります。

これは当社が2009年12月に小学生（103人）と小学生または幼稚園・保育所の娘を持つ20～40代の父親（1,280人）を対象として実施した調査結果/2010年12月に中学2～3年生（309人）と中学2～3年生の父親（310人）を対象として実施した調査結果/2012年12月に高校2～3年生（308人）と高校2～3年生の父親（309人）を対象として実施した調査結果との比較です。

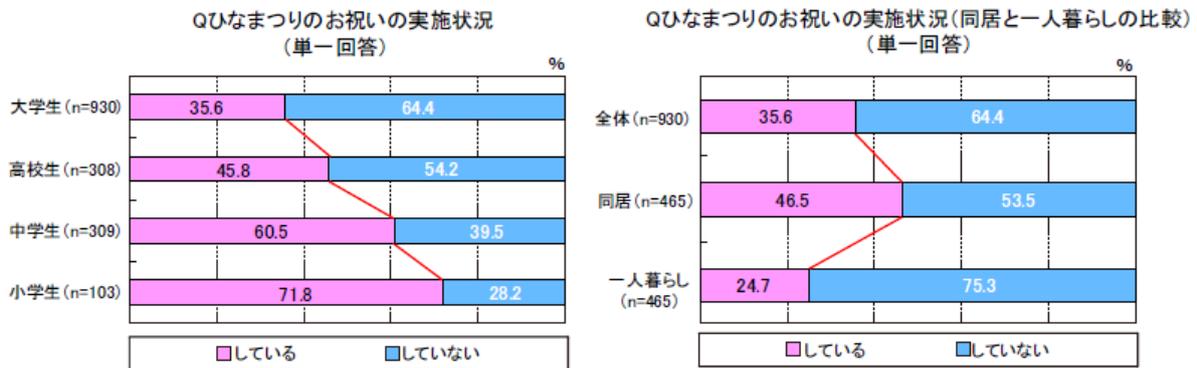


①女子大生のひなまつりの実施状況

ひなまつりのお祝い、女子大生の3人に一人が実施！

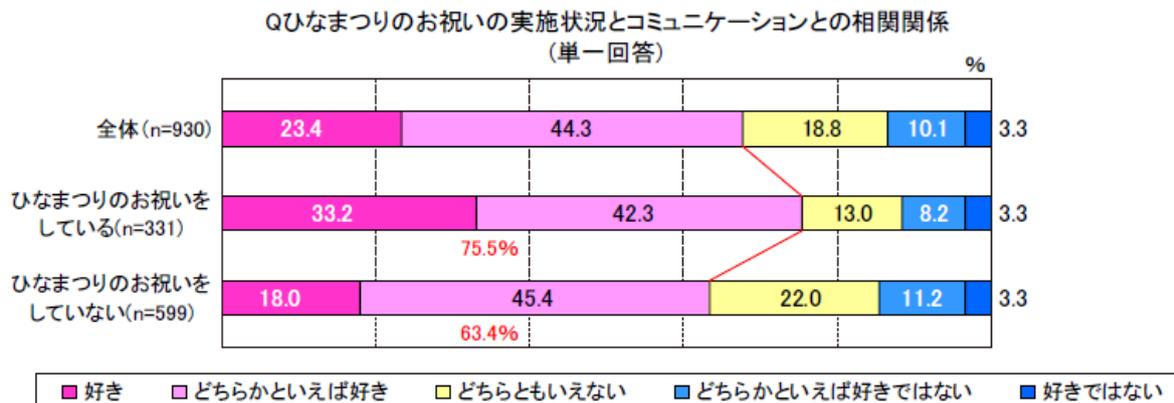
大学生 大学生になってからもひなまつりのお祝いをしているか尋ねたところ、約1/3 (35.6%) が「している」と回答。残る約2/3 (64.4%) が「していない」ということが分かった。

お祝いの実施率について以前調査した小中高生の結果と比較してみたところ、小学生 (71.8%)、中学生 (60.5%)、高校生 (45.8%)、大学生 (35.6%) と、成長するにつれて低下している様子が明らかになった。しかし居住スタイル別に実施率を調べてみたところ、両親と同居している学生のうち半数近く (46.5%) がお祝いをしており、昨年の高校生 (全員両親と同居のうち45.8%) をわずかながら上回っていることが分かった。



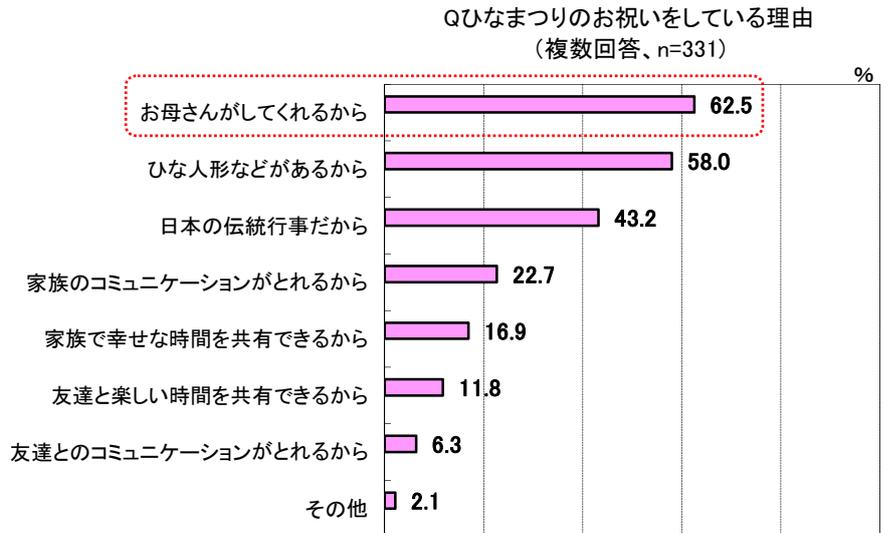
お祝いをしている女子大生は「人とコミュニケーションを取るのが好き」

大学生 ひなまつりのお祝いの実施状況と「コミュニケーション」の相関について分析してみたところ、お祝いをしている大学生の7割超 (75.5%) が「人とコミュニケーションをとるのが好き」と回答したのに対して、お祝いをしていない大学生は6割超 (63.4%) で、お祝いをしているほうが12.1ポイントも上回っていることが分かった。



🌸 ひなまつりのお祝いをしているのは「お母さんがしてくれるから」

大学生 ひなまつりのお祝いをしている大学生たちにその理由を訊いたところ、「お母さんがしてくれるから」62.5%をトップに、「ひな人形などがあるから」58.0%、「日本の伝統行事だから」43.2%が上位に挙げられ、以下の「家族のコミュニケーションが取れるから」22.7%、「家族で幸せな時間を共有できるから」16.9%、「友達と楽しい時間を共有できるから」11.8%、「友達とのコミュニケーションが取れるから」6.3%などを大きく引き離れた。その他の中には「恋人がしてくれるから」や「大学の行事で」といった大学生らしい回答があった。

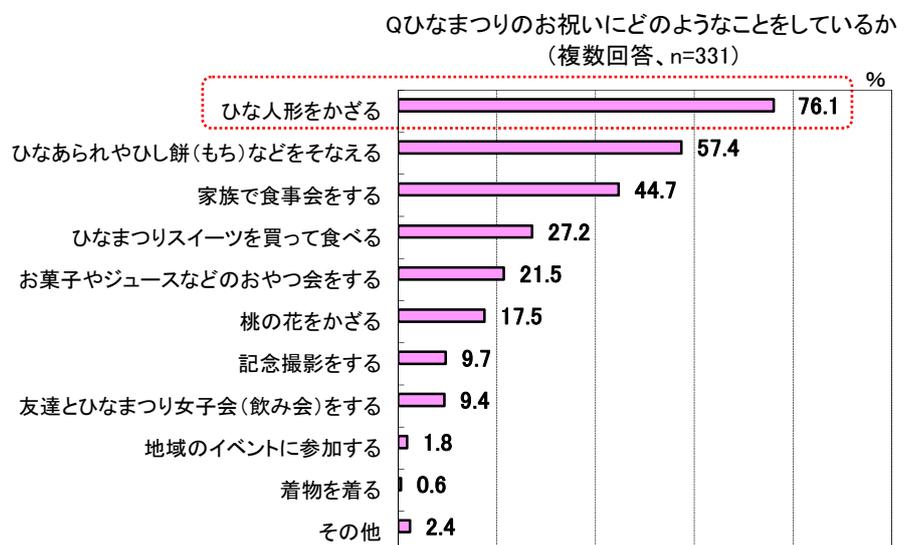


🌸 お祝いは「自宅 (実家)」が圧倒的

大学生 ひなまつりのお祝いをしている大学生たちにどこでしているか尋ねたところ、圧倒的に「自宅 (実家)」88.2%が多く、以下「一人で暮らしている部屋」8.8%、「友人宅」8.2%、「祖父母の家」3.6%、「大学」と「居酒屋・レストラン」が各 1.8%、「ホテル」0.3% (1人) などの順だった。

🌸 お祝いのトップは「ひな人形を飾る」

大学生 ひなまつりのお祝いをしている大学生たちにどのようなことをしているのか質問したところ、「ひな人形を飾る」76.1%をトップに、「ひなあられやひし餅などをそなえる」57.4%、「家族で食事会をする」44.7%が上位に挙げられた。以下「ひなまつりスイーツ

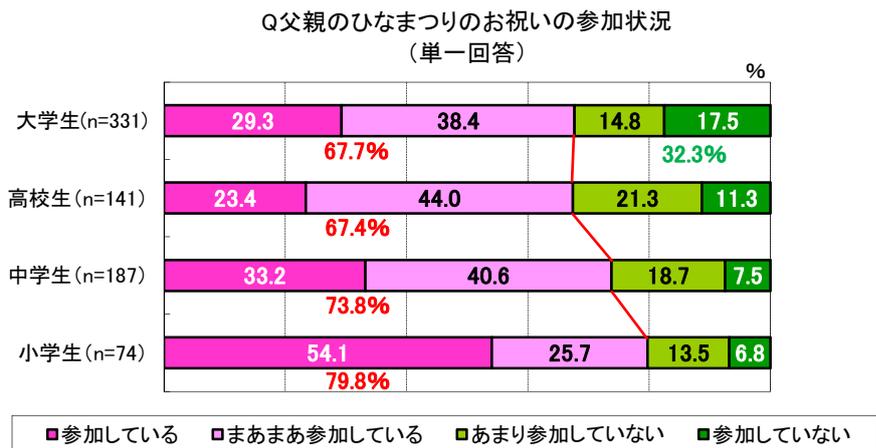


を買って食べる」27.2%、「お菓子やジュースなどのおやつ会をする」21.5%、「桃の花を飾る」17.5%、「記念撮影をする」9.7%、「友達とひなまつり女子会（飲み会）をする」9.4%、「地域のイベントに参加する」1.8%、「着物を着る」0.6%（2人）などの順番だった。

②父親のひなまつり参加実態と父娘のコミュニケーション

父親の7割弱がひなまつりに参加

大学生 ひなまつりのお祝いをしている大学生たちに父親の参加状況について尋ねたところ、「参加している」29.3%と「まあまあ参加している」38.4%を合わせて7割弱（67.7%）の父親がひなまつりに参加しており、「あまり参加していない」14.8%と「参加していない」17.5%を合わせた3割強（32.3%）が不参加だった。



父親の参加率について以前調査した小中高生の結果と比較したところ、小学生（79.8%）、中学生（73.8%）、高校生（67.4%）と成長するにつれて参加率が漸減していたが、大学生の父親の参加率は67.7%とわずかながら増加していることが分かった。

父親の約4割 ⇒ ひなまつりが娘とのコミュニケーションに役立った

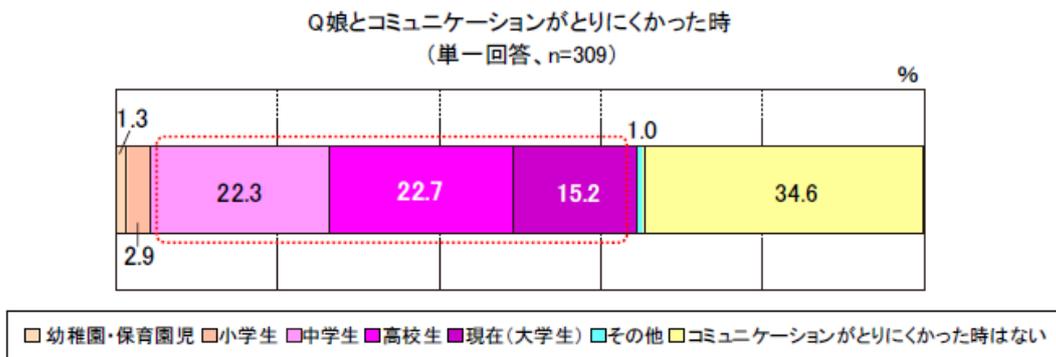
父親 これまでのひなまつりが娘とのコミュニケーションに役立ったかどうか訊いたところ、「役立った」12.0%と「どちらかといえば役立った」29.8%を合わせた肯定派は約4割（41.8%）で、「役立たなかった」7.4%と「どちらかといえば役立たなかった」12.6%を合わせた否定派は2割（20.0%）だった。また「ひなまつりをしたことが無い」という人が3.9%（12人）いた。

Qひなまつりが娘とのコミュニケーションに役立ったか
(単一回答、n=309)



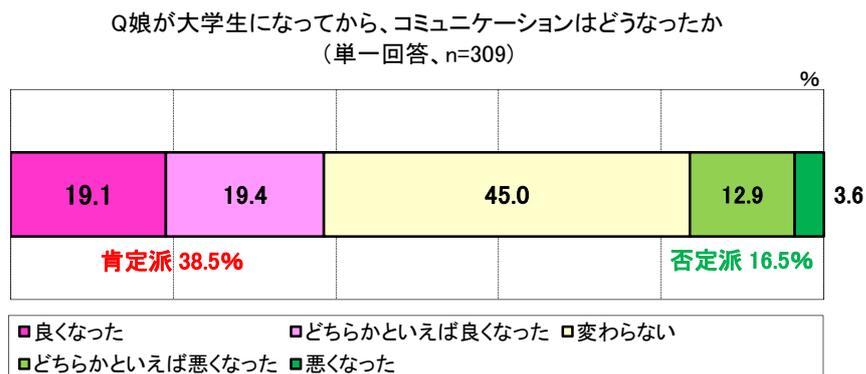
🌸娘とのコミュニケーションが一番とりにくかったのは「高校生」・「中学生」の時！

【父親】娘とのコミュニケーションが一番とりにくかったのはいつか質問したところ、「高校生」22.7%と「中学生」22.3%がトップで、以下「現在（大学生）」15.2%、「小学生」2.9%、「幼稚園・保育園児」1.3%などの順だった。一方で「コミュニケーションがとりにくかった時はない」という人が約1/3（34.6%）もいた。



🌸大学生になって、コミュニケーションは良くなった！⇒4割弱

【父親】娘が大学生になってから、(以前と比べて) コミュニケーションがどうなったか尋ねたところ、「良くなった」19.1%と「どちらかといえば良くなった」19.4%を合わせた4割弱(38.5%)が肯定的に回答したが、「悪くなった」3.6%と「どちらかといえば悪くなった」12.9%を合わせた2割弱(16.5%)が否定的だった。一方で「変わらない」と答えた人が約半数(45.0%)いた。

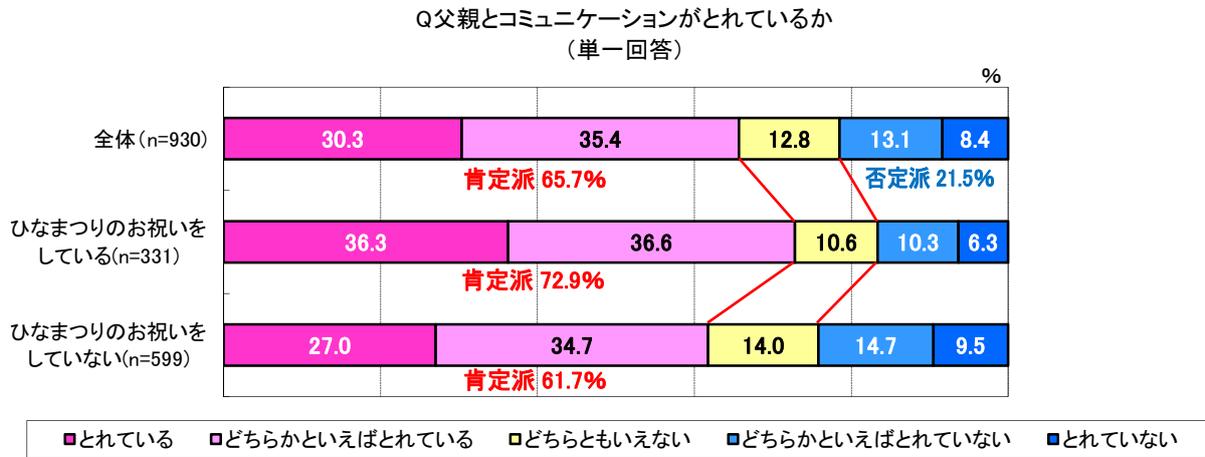


コミュニケーション	理由(抜粋)
○良くなった	アルバイトなどを通じて社会のことを理解するようになった
△どちらかといえば良くなった	大学に入学して少し大人になった
— 変わらない	◎幼少期から自分を嫌う様子が無い ×もともとコミュニケーションはほとんど無い
▼どちらかといえば悪くなった	バイトやゼミで会う時間が少なくなったため
●悪くなった	遅れた反抗期

🌸 約 2/3 が「父親とのコミュニケーションは〇」

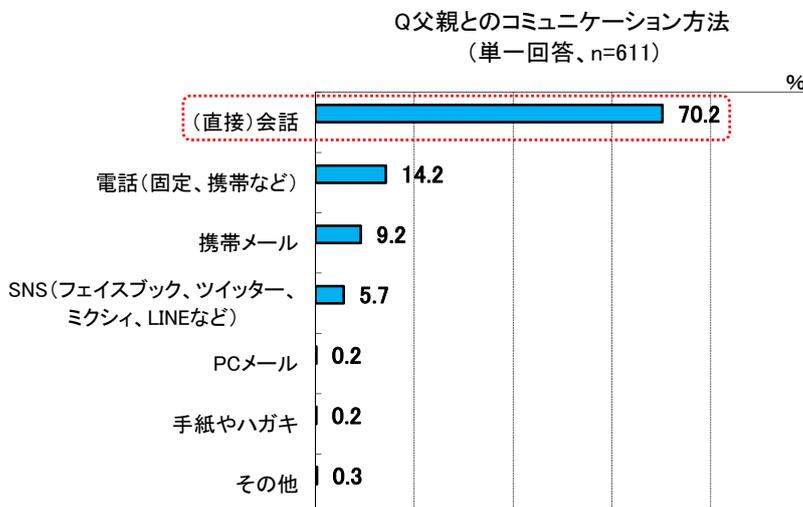
【大学生】 父親とコミュニケーションがとれているか全員に尋ねたところ、「とれている」30.3%と「どちらかといえばとれている」35.4%を合わせて全体の約 2/3 (65.7%) が肯定的に回答。一方「とれていない」8.4%と「どちらかといえばとれていない」13.1%を合わせた 2 割強 (21.5%) は否定的に答えた。

また、ひなまつりのお祝いの実施状況と父親とのコミュニケーションの相関について調べてみたところ、お祝いをしている大学生の約 7 割 (72.9%) が肯定的だったのに対して、お祝いをしていない大学生は約 6 割 (61.7%) で、お祝いをしているほうが 11.2 ポイントも上回っていることが判明した。



🌸 父親とのコミュニケーション ⇒ 約 7 割が「(直接) 会話」

【大学生】 父親とのコミュニケーション方法は何が一番多いか訊いてみたところ、「(直接) 会話」70.2%が一番多く、以下「電話 (固定、携帯など)」14.2%、「携帯メール」9.2%、「SNS (フェイスブック、ツイッター、ミクシィ、LINE など)」5.7%と続いた。この他は「PCメール」、「手紙やハガキ」が各 0.2% (1 人) だった。



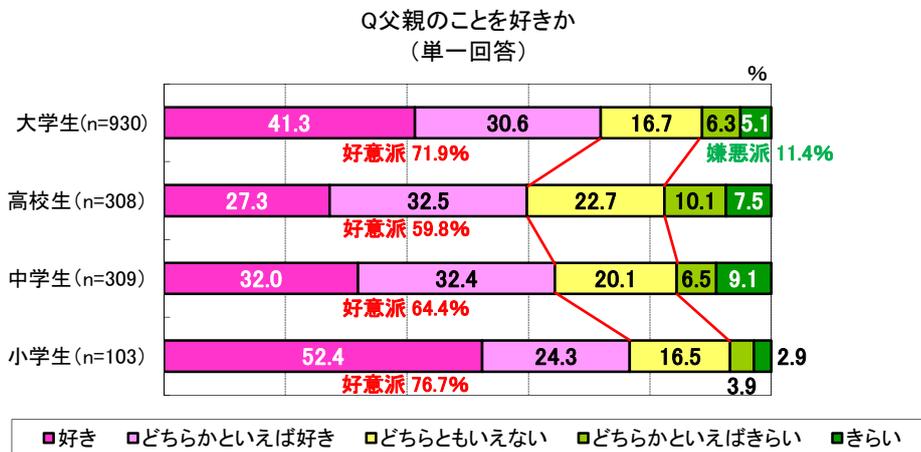
③女子大生の父親に対する意識と理想のお父さん像

🌸 「7割強」が父親のことを好き！

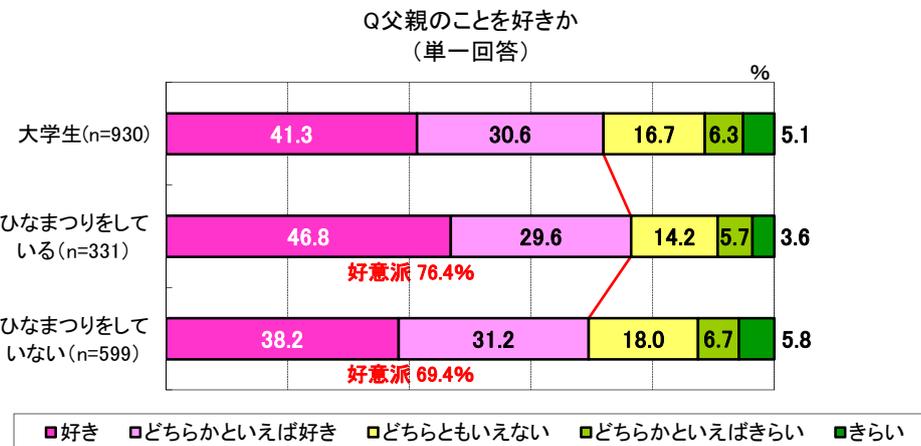
【大学生】 父親のことを好きかどうか全員に質問したところ、「好き」41.3%と「どちらかといえば好き」30.6%を合わせて全体の7割強（71.9%）が父親のことを好意的に思っており、「きらい」5.1%と「どちらかといえばきらい」6.3%を合わせた嫌悪派は1割強（11.4%）だった。

この父親への好意度について居住スタイル別に調べてみたところ、一人暮らしの学生（78.3%）の方が両親と同居している学生（65.6%）より12.7ポイント上回っていることが分かった。

また父親への好意度について以前調査した小中高生の結果と比較したところ、小学生（76.7%）、中学生（64.4%）、高校生（59.8%）と、成長するにつれて低下していたが、大学生（71.9%）になると上昇に転じていることが分かった。



さらに、ひなまつりのお祝いの実施状況と父親に対する好意度の相関について調べてみたところ、お祝いをしている大学生の76.4%が好意的であったのに対して、お祝いをしていない大学生は69.4%で、お祝いをしているほうが7.0ポイント上回っていることが判明した。



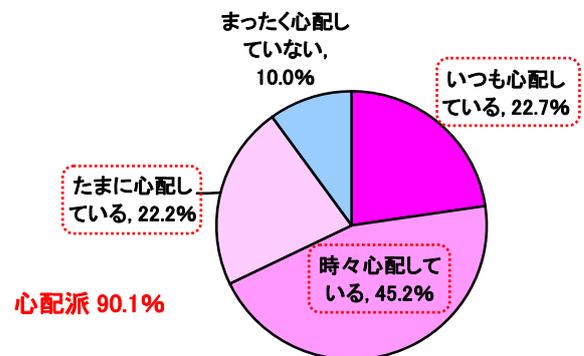
🌸理想のお父さん ⇒ 「自分の父親」が断トツ！

【大学生】「理想のお父さん」は誰か質問したところ、なんと「自分の父親」が 86 人と断トツで、2位の「舘ひろし」31人と3位の「関根勤」24人を大きく引き離れた。これに「阿部寛」と「つるの剛士」が各19人と続き、以下は「福山雅治」18人、「西島秀俊」15人、「山口智充」14人、「竹野内豊」11人、「反町隆史」10人などだった。

🌸9割が父親の体（健康）を心配している！

【大学生】父親の体（健康）を心配することがあるかどうか尋ねたところ、「いつも心配している」22.7%、「時々心配している」45.2%、「たまに心配している」22.2%を合わせて9割（90.1%）が、頻度の差はあれ肯定的に回答。残る1割（10.0%）は「まったく心配していない」と答えた。

Q父親の体を心配することがあるか
(単一回答、n=930)



🌸娘の父親採点は平均 71.0 点 ⇒ 父親の自己採点を 12.8 点上回る

【大学生】父親を百点満点で何点か採点してもらったところ、一番多かったのが「80点」21.6%で、次が何と「100点」17.3%だった。以下「70点」15.4%、「90点」14.1%、「50点」9.8%、「60点」8.8%と50点以上が上位を占めた。以下は「30点」3.0%、「40点」2.9%、「0点」2.6%、「10点」と「20点」が各2.3%などの順だった。平均値を算出したところ71.0点（昨年女子高生の採点より約10点UP）で、父親の自己採点の平均値（58.2点）より12.8点も高かった。

点数	割合	理由
100点	②17.3%	いつも家族のために一生懸命頑張っている姿が素敵だから。
90点	④14.1%	申し分ないけれど、もう少し体調管理に気を遣ってほしいから。
80点	①21.6%	基本的に好きだし尊敬できるけど、うっとうしい時がある。
70点	③15.4%	大好きだが、自分のことをまだ子供に見ている時があるから。
60点	⑥8.8%	娘のことをよく考えてくれるが、メタボでファッションセンスが皆無。
50点	⑤9.8%	頑張って働いてくれて感謝してるけど、会話が楽しくない。
40点	⑧2.9%	仕事ばかりしていてあまりコミュニケーションを取る気がないから。
30点	⑦3.0%	働いていない時があるから。
20点	⑩2.3%	休みの日に寝てばかりでほとんどコミュニケーションをとらない。
10点	⑩2.3%	家族に対して優しくなく、自己中心的な所があるから。
0点	⑨2.6%	家族に何も関心がない、会話さえないから。

↑○数字は順位

また 80 点以上の採点について居住スタイル別に分析してみたところ、100 点は一人暮らし (21.5%) >同居 (13.1%)、90 点は一人暮らし (14.8%) >同居 (13.3%)、80 点は一人暮らし (23.7%) >同居 (19.6%) と、いずれも一人暮らしの方が上回っている様子が浮かんだ。

🌸 父親の自己採点は控えめ ⇒ 平均 58.2 点

【父親】 父親としての自分に点数をつけるとしたら何点か訊いたところ、一番多かったのが「50 点」で全体の約 1/4 (24.6%) を占めた。以下「70 点」19.7%、「60 点」15.2%、「80 点」14.2%、「30 点」6.8%、「20 点」4.5%、「40 点」3.9%、「100 点」と「90 点」が各 3.6%、「10 点」2.6%、「0 点」1.3%などの順番で、自己採点の平均値は 58.2 点だった。

点数	割合	理由
100 点	⑧3.6%	十分に父親としての役割を果たしている。
90 点	⑧3.6%	社会人の先輩としての姿を見せている。
80 点	④14.2%	人生の大部分を子供たちに捧げている。
70 点	②19.7%	高校や大学になってからは、何もしていないので-30 点。
60 点	③15.2%	仕事が忙しく子供の話をじっくり聞く時間が少ない。
50 点	①24.6%	勉強や就職活動でサポートが充分できなかったから。
40 点	⑦3.9%	家を空ける時が多くて家族サービスがなかなか出来なかったから。
30 点	⑤6.8%	家庭より、自分中心だから。
20 点	⑥4.5%	仕事や趣味にかまけて、大切な時期のケアが悪かった。
10 点	⑩2.6%	ほとんど親らしいことをしていない。
0 点	⑪1.3%	愛していない

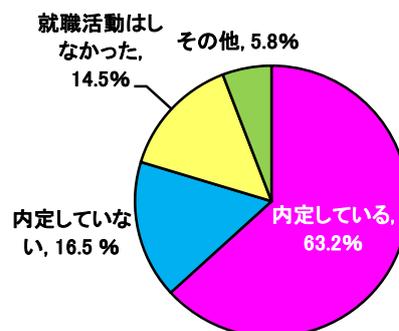
↑○数字は順位

④ 年生の就職活動と父娘の関わり おやこ

🌸 4 年生の 6 割強が内定！

【4 年生】 現時点での就職活動の結果について尋ねたところ、6 割強 (63.2%) が内定しており、2 割弱 (16.5%) は内定していないことが明らかになった。また、就職活動はしなかったという人が 1 割強 (14.5%) いた。

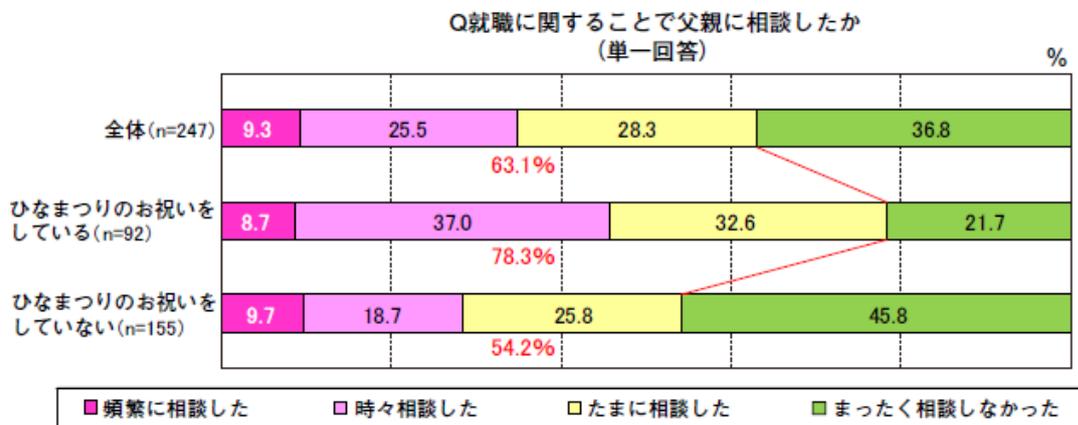
Q現時点での就職活動の結果
(単一回答、n=310)



🌸 就職に関することで、約2/3が父親に相談した・・・

4年生 就職活動を行った学生たちに、就職に関することで父親に相談したかどうか聞いたところ、「頻繁に相談した」9.3%、「時々相談した」25.5%、「たまに相談した」28.3%を合わせて約2/3（63.1%）が、頻度の差はあれ相談したことが分かった。残る約1/3（36.8%）は「まったく相談しなかった」と答えた。

また、ひなまつりのお祝いの実施状況と「就活相談」の相関について調べてみたところ、お祝いをしている大学生の8割弱（78.3%）が相談していたのに対して、お祝いをしていない大学生は5割強（54.2%）で、お祝いをしているほうが24.1ポイントも上回っていることが浮かび上がった。



🌸 父親の1/3強が、娘の就活をサポートできた！

4年生の父親 娘の就職活動をサポートすることができたかという問いに対しては、「サポートすることができた」8.7%と「多少はサポートすることができた」27.2%を合わせて1/3強（35.9%）が肯定的に回答。「サポートすることができなかった」14.6%と「あまりサポートすることができなかった」17.5%を合わせた否定派は1/3弱（32.1%）だった。一方で「就職活動はしてない」と答えた人が2割弱（17.5%）いた。

